

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

利用者の願いだった

バリアフリー化実現へ

元加治駅

1月27日、議員全
員協議会が開催され、
21年度に実施される
元加治駅のバリアフリー
化工事の具体的な内容
について報告が行なわ
れました。

方は駅を利用する事が
困難で隣駅の飯能や仏
子駅を利用する方もい
ました。

利用者の願いを

西武に届けた滝沢市議

元加治駅は1日約6
700人の乗降客があ
ります。改札からホー
ムに行くためには階段
しかなく、足の不自由
なお年寄りや車椅子、
ベビーカーを利用する

利用者から早くエレ
ベーターなどの設置が
できないかとの要望が
多く出されおり、滝沢
おさむ市議は駅前など
で署名活動に取組み市
に要望を行い西武鉄道
とも、毎年、交渉を重
ねていました。

工事は21年夏から

工事は21年8月下
旬から始まる予定になっ
ており、駅舎東側とホー
ム階段の東側に11人
乗りのエレベーターが、



それぞれ一基設置され
ます。また、この工事
に伴いホーム側のエレ
ベーター付近には新し
く屋根も設置され、ト
イレは売店裏側の位置
に障害者対応型トイレ
備えたトイレが新設さ
れます。エレベーター
工事とホームの屋根は
22年の2月末まで、
トイレは22年1月末
を目途としています。
その他、点字ブロック
や点字地図なども一緒

に整備される事になっ
ています。駅を利用し
病院通いをしている婦
人は「足が悪くて階段
を上り下りするのが大
変でした、早く利用で
きるようになる助か
ります」と喜んでいま
した。

駅員の常駐配置も

また、報告の中で
「エレベーターが設置

される事により安全面
でも常に駅員が配置さ
れるのか」の質問に対
して、市民生活部長は
「当然そうなるものと
思っています」と答弁、
現在、時間帯によつて
は駅員が配置されてい
ませんが、安全面での
不安の声も多く寄せら
れており、早期の解消
が求められています。

市民の願い狭める

議員定数の削減

昨年12月議会に、
議員定数を現在の23
人から19人に減らす
議案(野田直人・中村
公一議員)が提案され、
同時に21人に減らす
修正案(大久保勝・小

見山進・
加藤由貴
夫議員)と26人に回
復する修正案(金子敏
江・新井巧・山田利子・
滝沢修議員)の3本の
条例案が提案されてい



ました。

1月28日の臨時議
会の本会議で、「21
人案」が賛成13、反
対7で可決され、4月
26日投票の飯能市議
選の定数は21議席で
おこなわれることにな
りました。

金子市議団長の談話

議会の役割は、地域住
民と議会をむすぶパイプ
役である、市政のチェッ
ク機能と前置きしながら
その定数を自ら狭めてい
たのでは議会の自殺行為
といえます。私が初めて
立候補した16年前の選

挙から連続4回の削減と
なりました。2名削減で
年間約1400万円の経
費が削減できると報じら
れました。しかしこの間、
定数削減を叫ぶ人たちが
一方で有間ダムのおいし
い水が余っているのにム
ダに買っている年間70
00万円の県水や、名栗

村との合併によって突然
浮上した市庁舎別館建設
(4億7000万円)を
無批判に推進してきたで
はありませんか。
どうか、住民要求実現
の先頭に立つ日本共産党
に大きな支援を心から
訴えるものです。

波 紋

木の板をするす
ると紙みたい
に薄く削って、あ
れなんていったっ
け?キョウギじゃ
ない。辞書には
「経木」とあり、
昔、これに経文
を写したことがか

らこの名があるとか。昔、
魚屋さんや肉屋さんで、
木に品物をつつんでもら
った記憶があります▼経木と
か割り箸とか、ガードレ
ルとか木材の使い方はた
くさんあるのではないか。も
ちろん西川材を使った住宅
建設補助制度をもっと魅力
的なものにするにも必要
だし、そんなところがどう
なっているのかなと考
えてしまいます▼そんな時、
高知県四万十町役場の林業振
興室長の田辺由喜男さん
のことが新聞に出ていま
した。田辺さんは赤字が
続く町有林の経営を黒字
にした人です。その田辺
さんがいいです。「見て
んや、見渡す限りの山に、
お金と働く場がある。今、
山をあきらめるか、本
気で向き合うかで十年
後に大きな差がでる。
環境問題もあって、外
国産の時代は終わる。こ
れからが大事やき」と。同
じように広大な山林を持
つ飯能市です。持続可能
な林業振興のために本
気で向き合ってください
と思います。

ろ店
ひ能
る飯
ま東

7階・8階全面利用推進 市民そつちのけ沢辺市政

1月27日の臨時議会を午後控えた午前中、議員全員協議会が開催され、現在市が進めている事業や行政課題について経過説明を中心に報告されました。

その中で、今年9月にグランドオープン予定の「まるひろ東飯能店」についてびっくり仰天の報告がされました。

年間600万円の賃料

市としては、まるひろから要望書が出されている7F、8Fのフロアーすべてを利用していきたい。賃料は、2フロアーで月額560万円、年間6720万円、1㎡当たりの単価は、以前に8F部分に自治文化課が入館していたときの半額であると説明しました。



市民の暮らし大変なとき

これに対して金子敏江市議は、「なぜ民間企業に市がこれだけの肩入れをしなければならぬのか。市役所別館（4億7千万円）をつくって、第二庁舎



利用内容については、現在市職員からさまざまな提案を募集しているが、特に現在飯能市が抱えている重要な行政課題を解決するものに限定して検討していること、たとえば市民のよりどころとなる「健康づくり」の事業などを考えていると報告しました。

はガラガラだ。場所は工夫すれば他にいくらでもあるじゃないか。しかも市民の暮らしが大変な時、これだけの血税を投入して、1企業を救済するなど許されない。これでは、市長の独断専行と言われちゃうじゃないか」と発言。早速、安藤議員は「金子さんの言うことは分からないでもないが、全員協議会なのでこのくらいでいいのでは」と金子議員の発言を牽制し、議長も「他に一般質問でもできるのでこのへんで」と、即、休憩を宣告しました。議会の中では、共産党以

外の議員はこのまま黙してこんなムダ使いを容認するのでしょうか。

企業の責任で

まるひろ東飯能店は、一度民間ビル管理会社（ニューシティーコーポレーション株）に売却したものの、買い受けたこの企業もテナントを募集しても8階建ての建物全館を埋めることはできませんでした。これをまるひろが再度買い戻し、同時に北口飯能店を構造上の問題から閉鎖するという難題を抱え込んだこの経営判断であったことは、広く地域紙でも報じられ、まるひろの再度のより良い船出を願わない市民はいないと思います。しかし、あくまでも企業の責任の領域であるのです。

日本共産党の
しん赤旗
あなたもお読みください
日刊●月2,900円
日曜版●月 800円
申込先●
Tel1973-1091
Fax973-1079

身近な相談相手として



私は四期十六年、「身近な相談相手」を信条に活動してきました。子育てや両親の介護を通して「子どもたちやお年寄りの願い」を市政に届けてきました。特に、急速な景気悪

化から市民生活を守るために自治体ができること、やらなければならぬことをあらゆる角度から求めていきます。生活困窮者への支援に全力をあげてがんばります。金子としえ



市民と力を合わせて 市政を変える



私はこの四年間、国・市がすすめる増税と負担増、市民サービス切り捨ての中で、市民のくらしや営業、医療・福祉を守るために奮闘してきました。特に、市立病院の縮小・

成、シンポジウムの開催や署名にも取り組む、五千筆を超える署名を提出。統廃合は強行されますが、民間委託の問題点、不当性が市民の間に理解され、今後の民間委託阻止の力になると確信します。この間のたまたかい運動の教訓は、切実な要求は党派を超えて大きく広がり、議会では少数でも、市政を動かす大きな力を発揮するということ。このことに確信をもって、さらに頑張っていきたいと思えます。新井たくみ